

最低賃金、全国平均 25 円引き上げ(山口県は 22 円で753 円に) ～求められる時間雇用職員の時間単価引き上げ～

山口労働局長は、山口地方最低賃金審議会の答申を受け、山口県の地域別最低賃金を1時間753円に改正することを決定し、9月1日付けで官報公示を行いました。効力発生は2016年(H28年)10月1日から。

これは、これまでの1時間731円に対して22円引き上げる(引き上げ率約3%)もので、ここ十数年来最大の上げ幅となっています。これは十年前(2006年:H18年)の1時間646円に対して107円(16.6%)の上昇です。なお、全国平均は823円、最高額の東京都は932円です。

山口大学でも時間雇用の教職員が多数働いています。こうした最低賃金引き上げの急速な進展に見合った形で時間給の引き上げを行うことが求められています。

全大教教研集会に山口大学から8名参加 (9/9-9/11, 宇都宮にて)

毎年開催されてきた全大教(全国大学高専教職員組合)の第28回教職員研究集会が、今年は9月9日(金)から9月11日(日)まで、栃木県宇都宮市の宇都宮大学峯キャンパスで開催されました。教研集会は今後は隔年開催となっていることもあり、山口大学からレポート3本(任期制教員問題、年俸制問題、事務職員問題)を携えて8名が参加しました。詳細は続報予定です。

なお、11月初め(11/5-11/6)には神戸大学で第27回全国医大懇(全国医科系大学教職員懇談会)の開催も予定されています。



◆「危機に立つ大学と改革の展望」～日本科学者会議シンポジウム

(10/8・土、広島市西区民文化センターにて開催)

大学の危機が叫ばれて久しいものがありますが、科学者の自主的組織である日本科学者会議の中国支部によって、そうした状況をどうとらえ、どう打開すべきかを探るために「危機に立つ大学と改革の展望～これ以上大学を国民から切り離してよいのか?～」が、10月8日(土)午後、広島市で開催されます。

当日は広島大学の平手友彦氏の「新自由主義と『知識基盤経済』のもとで変貌する高等教育～エラスムス計画からポロニヤ・プロセスへ～」と題する基調報告の後、全大教委員長でもある岡山大学の中富公一氏の「現在の大学政策と学問の自由・大学の自治」、山口大学経済学部の塚田広人氏の「日本の高等教育無償化の根拠の検討」等の報告が予定されています。詳細は裏面開催案内をご覧ください。

日本科学者会議の企画ではありますが、組合として皆さまにお知らせするとともに、旅費の補助等措置できればと検討しております。シンポジウム参加を希望される方は、組合までご一報ください。

◆ 若手研究者シンポジウム、駒澤大学キャンパスにて開催(11/5-11/6)

日本科学者会議ではこの他にも11月に東京で「若手研究者総合学術研究集会～『安保法制』時代の研究と教育」を同会若手研究者問題委員会の主催で開催を予定しています。日程は11月5日(土)・6日(日)の二日間、駒澤大学(駒澤キャンパス)での開催となっています。

こちらの参加申込連絡先は wakate.jsa@gmail.com となっていますので、興味のある方はお問い合わせください。

危機に立つ大学と改革の展望

—これ以上大学を国民から切り離してよいのか?—



1. 基調報告:平手友彦(広島大学),「新自由主義と『知識基盤経済』のもとで変貌する 高等教育 —エラスムス計画からポローニャ・プロセスへ—」
2. 中富公一(岡山大学, 全国大学高専教職員組合委員長),「現在の大学政策と学問の自由・大学の自治」
コメント:上園昌武(島根大学), 川瀬正樹(広島修道大学), 他
3. 塚田広人(山口大学),「日本の高等教育無償化の根拠の検討」
コメント:学費ゼロネットワーク(広島)
4. 浜田盛久(海洋研究開発機構),「学問・研究は平和のために—急進展する軍学共同の現状—」
コメント:沢田正(日本ジャーナリスト会議広島支部事務局長)
5. 総合討論

2016年10月8日(土) 13:00~17:00 入場無料

広島市西区民文化センター大会議室

JR山陽本線「横川」駅から南西へ徒歩3分

問い合わせ先:日本科学者会議広島支部事務局:市川 浩(082-424-6397)